



# いちようっ子

～夢いっぱい 笑顔いっぱい 共に生きるいちようっ子～

<学校教育目標> 児童数447名

[強 く] 自信をもち、心身ともに鍛える子

[正しく] 深く考え、進んで学ぶ子

[美しく] 思いやりがあり、感動する子

## 言葉の力！

校長 大澤 紀子

梅雨の季節、蒸し暑い日が続いています。中庭付近で1年生が栽培している朝顔の花が咲き始め、体育館と校舎の間では、2年生が育てているミニトマトが実をつけ始めています。プールからは子どもたちの元気な声が聞こえます。暑い中、一人一人が目標に向かって頑張っている様子がうかがえます。

さて、私が最近の子どもたちの様子で気になることの一つに「言葉」があります。そこで、7月の全校朝会では、「言葉について」の話をする予定です。

私が使っている日めくりカレンダーには、「たった一言が人の心を傷つける。たった一言が人の心をあたためる。」という言葉があります。人は誰でも、「言葉」に救われたり温かい気持ちになったりした経験があると思います。でも、人を傷つけたり悲しませたりするのが「言葉」であるのも確かです。子どもたちは、そして、私たちは普段どんな言葉をつかっているでしょう。

私が子どもたちにお願いしたいことは、次の3つです。

### ①正しい言葉、気持ちの良い言葉をつかいましょう

自分の考えをしっかりと伝えられていますか。単語を発するだけで終わってしまい、「～です。」「～だと思ひます。」までしっかりと話せない子が多いです。ひざをけがして保健室に来て、「どうしたの?」と聞いても「ひざ・・・」としか言わない子もいます。大人はそれで何が言いたいのかを察することはできますが、それでは自分の状況は相手には伝わりません。正しい言葉で伝える、そして、聞いた人が気持ちの良い言葉遣い、場に応じた言葉遣いができるようになってほしいです。

### ②相手の気持ちを考えて言葉をつかいましょう

あなたが発した言葉は、相手の気持ちを考えていますか。聞いた人が傷ついてしまうような、悲しくなるような言葉をつかうのではなく、相手を励まし、温かい気持ちになる言葉がたくさんつかえるといいと思います。言葉は、話している相手だけでなく、あなたの周りで聞いている人へも影響を与えます。周りの人のことも考えて言葉をつかったり、口調や言い方に気をつけたりできると、みんなが気持ちよく生活できます。

### ③言葉の数や種類を増やしましょう

言葉の数や種類のことを語彙といいます。あなたはそれをどのくらいもっていますか。どんな時も「やばい」と「すごい」で済ませてしまう人はいませんか。日本語には気持ちや様子を表す言葉がたくさんあります。言葉をたくさん知っていると自分の考えをわかりやすく相手に伝えられます。豊かな語彙をもって豊かな表現ができると素晴らしいです。

子どもたちには、普段何気なくつかっている言葉のもつ力について考え、どんな言葉をつかったらいいのかを考える機会にしてほしいと思っています。子どもたちの温かい言葉がたくさん聞かれる鴻巣北小にしていきたいと考えています。

